

「とくしま生活排水処理推進戦略（案）」について

1 趣旨

平成29年に「とくしま生活排水処理構想2017」を策定し、生活排水処理施設整備手法のベストミックスによる早期の汚水処理人口普及率の向上に取り組んでいる。

今回、この構想に掲げた市町村ごとの整備目標が着実に実行されるとともに、施設整備の効果が十分に発現され、「きれいな水環境」を創造するため策定をする。

2 戦略の概要

（1）整備目標等（括弧の中は2018年度）

2022年度における汚水処理人口普及率	<u>71.8%</u> (61.8%)
下水	22.6% (18.1%)
集落排水	2.8% (2.7%)
合併処理浄化槽	45.8% (39.9%)
コミプラ	0.6% (1.0%)
2022年度における浄化槽の法定検査受検率	<u>63.0%</u> (58.4%)

（2）戦略の期間

2019～2022年度の4年間

（3）目標達成のための施策等

- ・ 効率的な事業運営に努めるため、汚水処理の広域化・共同化を促進
（し尿処理場を廃止し、下水道へのし尿投入を促進）
- ・ 市町の下水道事業の経営改善のため、企業誘致や大規模開発と整合を図り、工場やショッピングセンター等が積極的に接続されるよう支援
- ・ PFI方式による市町村設置型合併処理浄化槽の導入を拡大
（着手から3年間に限り、県費の補助率を1/10から2/10に倍増）
- ・ 市町村による共同浄化槽（市町村設置型）の整備・設置を促進
（新たに県費補助の対象に追加）
- ・ 法定検査受検率向上のため、自動継続契約および口座引き落とし方式を推進
（PRチラシの作成、個別勧誘の実施）
- ・ 浄化槽管理士の質の確保のため、保守点検業登録・更新時の研修受講を要件化

3 今後のスケジュール（案）

県議会（2月定例会）閉会后、年度内に策定・公表